

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	13	課題区分	C	令和6年3月1日	
横断的な課題	地域ブランドを活かしたゆたかな暮らしと移住への取組						
地域重点政策	地域ブランドを活かしたゆたかな暮らしと移住への取組					松本地域振興局	
実施機関	松本地域振興局			担当課	所属	林務課	
事業名	脱炭素社会に向けた地元木材製品等普及拡大事業				電話	0263-40-1928(直通)	
				E-mail	matsuchi-rimmu@pref.nagano.lg.jp		
事業概要等	目的 (目指す姿)	県産材の利用促進					
	現状と課題	<p>日常で多く使用されている人工素材による製品は、化石燃料を原料としいずれ枯渇することが予想される。また、精製に至る経過においても多量のエネルギーを必要とし、地球温暖化に拍車をかけており、これらに対して、CO2排出量の削減や森林保全、再生エネルギー等のクリーンエネルギーの利用に取り組むことが求められている。</p> <p>松本地域における素材(木材)は、カラマツやアカマツ等の間伐及び主伐により年間およそ約61千㎡(R3木材流通調査)の生産があり、この利用促進として、暮らしに木材を取り入れ、生活用品等を人工素材から木質製品への代替を進めるウッドチェンジを推進することで、地域の脱炭素化及び県産材製品の需要拡大に取り組み、2050ゼロカーボンの実現を促進する必要がある。</p>					
	内容 (変更後の内容)	<p>再生可能な地域資源である木材製品等に転換を図ることを目的として、令和3年度は、木工製品等の展示を管内8施設で行い、ホームページ上で紹介を行った。</p> <p>令和4年度は、新たに管内の木工製作者が生産される木製家具等の製品を集約したパンフレット等を作成し、管内の市村等へ配布し、脱炭素化・木材利用の促進に向けた県産材の木製製品の導入についての普及活動を行った。</p> <p>令和5年度は木工製品を、東京都主催の「woodコレクション2024」(1/11～1/12)で展示し、松本管内の木工製作者の製品と技術を都会へ売り込み、商品の販路拡大につなげる。</p> <p>(昨年度までの実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素化に向けた地元木材製品等普及拡大事業 (R3)木工製品展示: 15団体の木工製品を8施設で107日間展示、麦ストロー900セット(1,800本)配布 (R4)木工製品パンフレット250部印刷、配布、ホームページ掲載 					
事業期間	令和5年10月		～	令和6年2月			
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容		実績額	備考		
	県産木工製品等普及事業	県産材木工製品の展示		221,938	需用費、使用料		
	合計		221,938				
指標及び達成状況	成果指標			目標値	成果	達成状況	
	木工品展示会場への来場者数			6,500人	5,293人	○ 達成	
	パンフレット配布数			400部	400部	● 一部達成	
						○ 未達成	
事業実績・成果	【実績】						
	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都主催の「woodコレクション2024」(1/11～1/12)で管内木工製作者の製品を展示するとともに、製品の売りや特徴などをPR ・また、同イベントにおいて、昨年度、地域振興推進事業により作成した松本管内木工パンフレットを配布 						
今後の方向性	【成果】						
	<ul style="list-style-type: none"> ・出展した一部の製品(木製家具、ウッドパイロン等)については、大手ゼネコン、設計士及び行政機関(東京都・大阪府・北海道等)と製品の取引が成立見込 ・管内及び県内の同業者などとも繋がりができ、今後の取引なども成立 						
今後の方向性	<p>木工製作者等へのアンケートを実施した結果、次年度以降も内容を発展させたいという事業継続の要望が多かったため、引き続き県産材製品の需要拡大に取り組んでいく。</p> <p>令和6年度は、BtoCを主眼に置いたイベントへの出展や展示物の選定を行い、都市部や松本管内での展示等によるPRにより、一般の方々へ地域材を利用した木工製品のPRを行う。</p>						